

事例紹介 | ガス | Scope3排出量算定支援

背景・課題

- ◆ 昨今のカーボンニュートラルやESG関連のさまざまな動きを踏まえて、自社を取り巻く外部環境激変が進んでおり、カーボンニュートラルやESGにおける取り組みを推進していきたい。
- ◆ カーボンニュートラルに向けた長期環境目標やロードマップ策定について検討を進めるにあたり、まずはScope3のCO2排出量の算定を実施し、サプライチェーン全体のCO2排出量および排出構造を把握したい。
- ◆ 社内勉強会を実施の上、Scope3の算定やカーボンニュートラルの目標設定に向けた社内の意識醸成も行いたい。

プロジェクト概要

- ◆ 目標設定・削減施策検討に向けたScope3算定支援業務として以下3つを支援
 - ① Scope3算定支援：サプライチェーン全体でのCO2排出量とCO2削減ポイントを把握
 - ② 長期目標設定の取り組み紹介：他社の先進的な取り組みとカーボンニュートラルの目標設定の紹介
 - ③ 社内勉強会：Scope3の算定の必要性や算定結果、国内外のカーボンニュートラルに向けた取り組みを紹介

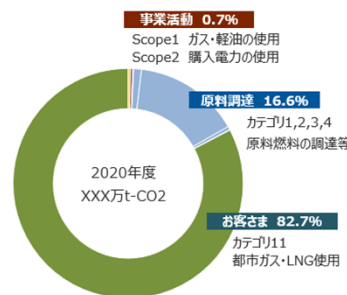
実施成果

- ◆ サプライチェーン排出量算定の仕組み化・現状分析
サプライチェーン排出量の算定ツールの仕組化、現状分析、今後の対応策検討まで支援。
- ◆ カーボンニュートラル実現に向けた社内意識の醸成
カーボンニュートラル実現に向けた国内外の動向や先進企業の取り組み、自社のサプライチェーン排出量の結果を共有することで、社内意識を醸成。

Task1 サプライチェーン排出量算定の仕組み化・現状分析

■ サプライチェーン排出量算定結果

Scope	概要	排出量 [CO2e-t]	割合 [%]
Scope1	ガス・軽油の事業活動での使用		
Scope2	購入電力の使用		
Scope3	カテゴリ1 購入した製品・サービス		
	カテゴリ2 資本財		
	カテゴリ3 Scope1,2に含めない燃料及びエネルギー関連活動		
	カテゴリ4 輸送、配送（上流）		
	カテゴリ5 事業から出る廃棄物		
	カテゴリ6 出張		
	カテゴリ7 雇用の通勤		
	カテゴリ8 リース資産（上流）		
	カテゴリ9 輸送、配送（下流）		
	カテゴリ10 販売した製品の加工		
	カテゴリ11 販売した製品の使用		
	カテゴリ12 販売した製品の廃棄		
	カテゴリ13 リース資産（下流）		
	カテゴリ14 フランチャイズ		
	カテゴリ15 投資		
合計			



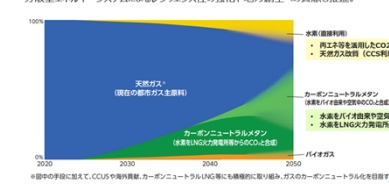
Task2,3 長期目標設定の取り組み紹介、社内勉強会

1. カーボンニュートラルに向けた取り組み動向 ③ 日本ガス協会の動向

- ・ 日本ガス協会では、ガス業界の2050年脱炭素社会の実現の取り組みとして、以下3つの削減施策を推進。
 - ① 徹底した天然ガス・天然ガスの高効率利用
 - ② 水素やメタン・エタン等のメタンによるガス自体の脱炭素化
 - ③ CCUS（CO2回収・利用・貯留）に関する技術開発とその活用、優れた国内技術
- ・ 西エネ等を活用したCO2フリー水素・LNG火力発電所からの排ガス等から回収したCO2を合成品・燃料メタンは、ガス事業における供給側の脱炭素化に貢献できる手段。既存のガレージや燃料電池等のガス機器を有効活用できるため、社会コストを削減することが可能。
- ・ 分散型エネルギーシステムによるレジリエンス性の強化や地方創生の貢献も推進。

3. カーボンニュートラルに向けた取り組み事例 ① 業界動向 CNL・CN都市ガス

- ・ 東京ガスは、2021年11月より丸の内エリアでのCN都市ガスの供給を開始している。
- ・ また、大阪ガス、東邦ガス(後述)がCN都市ガスの供給を開始しているほか、北海道ガス、広島ガス、西部ガス(後述)などがCNLの導入を進めている。



③ 日本総研 Copyright (C) 2023 The Japan Research Institute, Limited. All Rights Reserved.

① 日本総研 Copyright (C) 2023 The Japan Research Institute, Limited. All Rights Reserved.

担当コンサルタント



山田 幸美 やまだ ゆきみ

環境・エネルギー・資源グループ
コンサルタント



狭間 優治 はざま ゆづ

環境・エネルギー・資源グループ
コンサルタント

出所：各種資料を基に日本総研作成

お客様概要

業種	ガス
売上高	—
従業員数	—
事業概要	ガスの製造、供給および販売